



【5月より文化庁伝統文化 親子教室事業、と金親子将棋教室実施】



阜月（さつき） 早苗を植える時期「早苗月（さなえづき）」を略したもの。耕作を意味する古語の「サ」が元になっているという説もあります。※「阜月」の”阜”には「神に捧げる稲」という意味があります。

5月の花 カーネーション 桜草（サクラソウ） 菖蒲（アヤメ・ショウブ） ツツジ鈴蘭（スズラン） 藤（フジ） 水芭蕉（ミズバショウ） 薔薇（バラ） 牡丹（ボタン） トルコギキョウ花水木（ハナミヅキ） 白詰草（シロツメグサ） 都忘れ（ミヤコワスレ） 鈴蘭（スズラン） ライラックなど。



〔第12回 名古屋・小・中学生将棋大会〕を開催する当将棋教室は、と金生徒が日頃切磋琢磨してきた成果を大会で試し、他の教室の生徒や将棋好きな人達と大会を通じて交流出来ればとの趣旨で始めたものです。ですので、**と金生徒は出来るだけ参加してほしいと期待しています。**

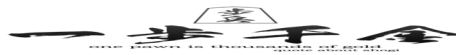
藤井聡太四段の強さの秘密

藤井聡太さんの特徴は、詰将棋の強さ 速さ何十手も先を読む 直感には羽生 善治三冠も驚嘆瞬間的なひらめきの強さだそうです。ところが その「直感」は、積木＝立体パズルによって 育てられ 鍛えられたのです。将棋史上最年少プロ棋士 藤井聡太さんを育てた積木・立体パズルこそスイスの玉の道の積木 キュボロなのです



羽生3冠のコメント

藤井さんの指し手には現代的なスピード感がありますね。チャンスと見れば躊躇せず踏み込んできます。また序盤が体系化されてきている現代将棋において、重要なポイントをしっかりと押さえているという印象です。—プロデビューから公式戦13連勝の新記録を達成しました。すごい記録ですよ。私も藤井さんの将棋を見ていますが、危なっかしい局面がほとんどないんですよ。私が見た中では11戦目の小林裕士さんとの将棋で一瞬だけ危ないと感じるところがあったくらいで…。それも本当に一瞬だけなんです。いつもほとんど完ぺきと言える内容の将棋を指しているように思います



前号より【格言—2】

- 1. 合わせ歩で位の奪回** 位を取られたとしてもしっかり確保されていなければ歩を合わせれば簡単に取り返せるということ
- 2. 居玉はさげよ** 居玉は上からも左右両方からも攻められてしまうのもろい。安全のため、玉は3度は動かしたいですね。
- 3. 一段金に飛車捨てあり** 一段目にいる金は守備力が高く特に飛車打ちの盾として働くので飛車を切っていくような強攻が成立する場合があるということ
- 4. 一步千金** たった一枚の歩であってもその働きは1000枚の金以上のはたらきをすることがあるということ 歩の手筋はたくさんあります。継ぎ歩や垂れ歩、中合いなどの合い駒の手筋や成り捨てる手筋など受けにも攻めにも効果的です
- 5. 浮き駒に手あり** 浮き駒がある場合はその駒が傷となって攻める筋が発生する場合があるということ
- 6. 受けは金、攻めは銀** 一般的には、金は守りに向いており、銀は攻めに向いています。
- 7. ヘボ将棋玉より飛車を可愛がる** 初心者の頃にありがちなのが、必要以上に飛車を大事にしてしまうこと。将棋で一番大事な駒は「王」です。場合によっては飛車を諦めて王を守りましょう。
- 8. 両取り逃げるべからず** 両方逃げないで他の手から考えたいという格言。

4月開催の昇級・新入会者

4月8日開催日分 山田悠晴君9級・中級Aへ、浅野匠君11級昇・中級Bへ、平川巧真君12級昇、以下新入会・小島勇弥君参段、小島洗弥君弐段共に上級Aへ、大河内暁生君11級・中級Bへ、川津優弥君11級・中級Bへ 増渕航君12級・初級へ、

4月15日開催分 近藤俊介君4級昇、白木達也君4級昇、小林龍之介君7級昇・上級Bへ、大草歩睦君8級昇、上田遥斗君10級昇、平川巧真君11級・中級Bへ、増渕航君11級昇、秦諒尚君12級昇、新入会・甲田卓巳君9級・中級Aへ。

第24回岡崎将棋まつり と き 平成29年5月7日(日) ④子供将棋大会 AM9:00～受付 AM10:00～PM1:00

6月3日 (第1週土曜日)・6月10日 (第2週土曜日)